

# 潮流



大津島(平成26年10月1日現在)  
人口 325人(男136人 女189人)  
高齢化率 74.8%

## 大津島地区運動会

九月二十日。大津島幼小中学校にて、運動会が開催されました。秋晴れの下、生徒と住民が一緒に汗を流しました。今年も運営係兼参加者として、若潮の会の皆さんも手伝って下さり、大会を盛り上げてくれました。今回は、中学三年生 松本花織さんにとって、島での学校生活最後となる運動会でした。お疲れさまでした。大津島では、学校と地域が連携し、皆で支え合って行っています。この運動会が長く続き、毎年子供達が走り回っている島の未来を望まずには、られません。



旅人 北村さん

古城 美保子さん

屋野 耕一さん

田辺 浩一さん

松本 花織さん



## 老人クラブ 交流会

須金  
×  
大津島



## 敬老会

2014

九月十五日。海の郷体育館にて、敬老会が開催されました。今回は、模範老人として、佐々木イセノさん・高松チサ子さん・三島アサエさんが表彰されました。特別功労賞として、寿会会長をされていた古城公恵さんが表彰されました。皆様おめでとうございます。お楽しみ抽選会も開催され、大変盛り上がりました。前日準備や当日運営など、ご協力いただいた福祉委員及び社協役員の皆様、ありがとうございました。

九月二十九日。須金地区で、両地区の老人クラブ交流会が開催されました。大津島からは、二十九名が参加しました。初めに、松田観光農園にて、梨狩りを体験し、公民館へ移動して交流会が開かれました。今年で三十一回目を迎えるこの交流会。久しぶりの再会を皆さん喜んでいました。恒例のカラオケ大会も開催され、安達壽富さんと福田護さんのデュエット「有楽町で逢いましょう」は、途中キスシーンもあり、大いに盛り上がりました。

# 大津島の人々 (10)



友弘 メグミ (ともひろ めぐみ)さん

柳浦出身。昭和12年生まれ。77歳。

Qなぜ仙島に?

A結婚をきっかけに、昭和三十三年、旦那の住んでいた仙島での生活が始まりました。

Q当時はどんな様子でしたか?

A当時の仙島は、電気が通っておらず、ガスも無く、炊事・風呂も薪を使い、電話も無く、水道もありませんでした。基本的に太陽と共に生活し、夜は外も真っ暗で何も見えないので、一晚中ランプを付けていました。

Q水はどうやって確保を?

A家の近くに湧水があり、そこから引いて使っていました。一度、干ばつの時に水が出なくなることがあり、娘と一緒に伝馬船に乗り、干渡(ひと)※黒髪島と仙島の間

にある水場まで、水を汲みに行ったこともありました。しかし、この水場は潮が高い満潮時にしか行けないため、大変でした。

Q電気は?

電気は、昭和四十一年十二月十九日に使えるようになりました。初め“パツ”と点いた後、すぐ消えたのを覚えていません。とてもワクワクしました。それから我が家は、テレビ、冷蔵庫、洗濯機を買いました。

Qそれからの生活は?

この電気が通る少し前に、旦那が亡くなり、そこからは私が働いて、子供達を育てました。

Qどんな仕事を?

Aサリ漁や、ゴカイを掘ったり、サカキやシキビを売って収入を得ていました。当時は、動いただけお金になったので助かりました。忙しい時は、睡眠時間が二時間という日もよくありました。それでも「大変じゃった」という大変が、大変と感じなかった(笑)

Q今後は?

これからは仙島に帰らず、元気なうちは、大津島で生活しようと思います。近所の人達も良くしてくれそうです。

(聞き手:文 大友)



秋祭り

安達照子



島民の健康安全を願ひ、五穀豊穡に感謝して今年も秋祭りの神事が行われた。

「ええまいのーええまいのー」と掛け声に合わせて鐘や太鼓の音が晴れ渡った青空に響きました。

秋明菊



冷たい北風が吹き初め、木々は葉を落とし、気ぜわしい年末の時期になりました。草木も冬枯れた様に見えますが、やがて花開く日の為に、生命はしっかりと息づいています。

## 海 の街道・十四 【七人墓・十人墓】



文=末兼正純

島の皆さんはよくご存知のことだが、七人墓と十人墓について記しておきたい。海の街道と大津島の深い関わり合いを、直接的に示す史実であるからだ。

一六九三年(元禄六年)六月二五日、江戸幕府の御城米を越後から搬送中の島原藩の廻船が大津島横島沖で遭難し、死没した河野助之進他六名を祀ったのが七人墓で、近江の里山にひっそりと佇んでいる。

一七四八年(寛延元年)九月二日、黒田藩の御用米を運んでいた御用船が同じ海域で遭難し、死没した博多湾・能古島の乗組員十人の遺体を祀ったのが十人墓で、瀬戸浜に十基の墓があり、よく整備されている。

「十人墓を守る会」があつて、毎年七夕の日に能古島からも子孫が来島して供養祭が営まれている。以上は、現地に掲げられた説明書きに拠る。

近江や瀬戸浜に近い、大津島北端の横島の岬を回ると、風向きが急に変わり、海の荒れ方も異なってくる。今でも要注意とされている海域である。

いづれもその季節から見て台風による遭難であったと思われる。台風情報などない時代、今の巡航船のような念の入った事前待避はできなかったろう。

また、乗組員の数から考えて、その船は前々回述べた江戸流通の主役、舟才船であつたらうと思われる。通常、このようなケース、地元の人が墓まで建てて代々祀るだらうか、行政に任せて終わりだらう。昔の島の人たちの優しさが偲ばれる。

## 知っちよるかね



「こびんちゃの頃」

文＝松本 千恵子

あれはまだ学校にも上  
がらんこびんちゃじゃつ  
たある日、やねこい親戚に  
一家で行った時の事、日頃  
はパーマも減多に当てず  
髪はうっしやがんで、どん  
だを纏うて、がしりああち  
よったある日、髪も着物も  
きれいにしておかけたそ  
の家のオバサンに親の名  
前位言えるかとおこつら  
れて、バカにせるなよと  
「古城博んべえ」ちゅうて  
答たら、オバサンは「まあ」  
ちゅうたぎり二の句を継  
げんかった。勝ったと思  
ちよつたら、家に戻ってか  
ら親に「あねえにおかばえ  
かやして」ちゅうてひきみ  
しやがれた。

親は「あねえな子がど

うなるう。少々のごっぼ  
う者になるうい」ちゅう  
てオバサンにたいがいひ  
どう、いねられたらしい。

オバサンの予言通りご

っぼう者になったかどう  
かはともかく、あれから  
六十年の月日が過ぎた。  
どうやらごっぼう者ちゅ  
われる程のやり手にはよ  
うならだった。ちゅうよ  
りもはんげちなしの、の  
そんなになって役にやあ立  
ちやあせん。今じゃあ大  
けな腹を抱えたのそん  
が、どばたえちよるのだ  
けは確かじゃね。

ここまでよんで笑った

人、訳がわからん人、二  
つに分かれると思うから  
日本語に直そうと思つた  
けど、私の力不足で当て  
はまる言葉が出て来んか  
ら、まあ小さい頃、親戚  
で親に恥をかかせた時の  
話ちゅう事。

## ミュージックキャラバン



「ミュージックキャラバン  
再来島！」

文＝田辺 浩一  
大津島駐在所

秋風が吹き始めた9月6日、大津島にボランティアバンド『ミュージック  
キャラバン』が8年ぶりに来島しました。以前から、地域の方にバンドの生  
演奏を聴いていただき、元気になってもらいたいと思っていたのと、演奏メ  
ンバーの一人が私の知人ということもあり、今回の演奏会開催の運びとなっ  
たのでした。

演奏当日は、島内から多くの方に集まっていただき、キャラバンも演奏に  
熱が入ったそうです。懐かしの名曲やフラダンス、迫力ある演奏と、島の方  
の生き生きとした笑顔に元気をいただきました。ありがとうございました。

当日の様子を収録したDVDをいただきましたので、視聴したいという方  
は駐在所へご連絡を！

## ひろしのつぶやき



「女性が輝く社会」

文＝屋野 廣志

老人クラブ三和会、総員

により平和思考の流れがあ

二十一名中、男性三名、女  
性十八名。女性の活動・行

るのか、現在の生活は、食  
品、交通、燃料、電気、I

動力は、若さだけでなく、  
実に強い。自治会運営も全

T産業の開発により全て力  
量不要の時代だ。男女共同

て女性に仕切られて居る。  
伝統行事、しきたりのみが、

参画と早くから言われて居  
るが、女性も怯む事なく

男性の主張だ。細部は全て  
女性の思考に委ねて居る。

堂々第一線、第一人者とし  
て踊り出、また男性も負け

女性の思考は平等を主と  
し、平穏にと男性の介入を

じと励みもするが、安倍内  
閣の女性大臣の入閣、各企

許さず、只々傲慢と力量だ  
けが男である。こうも高齢

業の女性管理職の登用。  
大臣も総理も市長も支所

化すると、その頼る力量も  
無く、全て女性の世界とな

長も全て女性の運営管理と  
なれば。自治会長もやさし

ってしまう。人類悠久の歴  
史は女性優位主権で、男性

き女性会長で、一人暮らし  
の老いぼれた私に安価でお

従属の時代もあり、これが  
人類の有り方かとも思う。

いしい給食の順番を協議  
し、残り物で結構です、生

時により力量の時代や、時

かして欲しいとつぶやく。



10月19日は若潮の会の遠足でした。参加者は幼稚園から大人まで20余名。瀬戸浜から近江を廻りました。参加者のコメントです。

- 島の出身でありながら、今回初めて行きました。先人の苦勞や慈悲深い心を知りました。 久生
- 行ったことがない所があり、島の歴史にびっくりしました。 昭彦
- 瀬戸浜、刈尾を歩いたのは幼少期以来ですね。同級生のお母さんに会うことができ、大変懐かしい思いに浸りました。 昭
- 子供の頃に遊んだ所を四十年ぶりに懐かしみながら再発見できたことに感謝。次が楽しみ。 清和
- 今回初めて行く所ばかりだったので楽しめました。 常登
- 刈尾と馬島方面しか知りませんでした。近江の方は奥が深くてスバラシイ！厳島神社に参詣できて嬉しかったです。 志希子
- 歩いてみると奥の深い島でした。どうもありがとうございました。 忠彦
- 島には美しい場所がたくさんあるのだなと、再発見する遠足でした。そして、今回たくさんの方の参加があったことが、何より嬉しかったです。 あゆみ
- 知らなかった島の風景を気持ちのいい風に吹かれながら歩いて、とても良い時間でした。ありがとうございました。 道代
- 島の中に住んでいるけど行ったこともなく知らなかった所も行って楽しかったです。 花織
- いい天気で何より。 美保子

## アイランダー2014



文＝大友 翔太

この度、アイランダー2014 しまいるプロジェクトに、ご協力いただきありがとうございました。

今回は、275名を撮影し、合計5891枚の写真データがあります。カメラマンとしての技術不足の動かぬ証拠です(笑)皆さんの笑顔は、最高でした！

改めて考えてみると、随分大胆な企画を立ててしまったものです。しかし、一軒一軒歩いて、世間話をしながら、写真を撮っていくのは、島おこし隊員初年度を思いだし、初心に帰った様な気持ちになりました。今回撮影した写真は、文化祭展示後に各ご家庭にお届けいたします。

皆様のお陰で、素晴らしいものが出来上がりそうです。東京でも全力で大津島をアピールして来ます。ご協力ありがとうございました。

### ～事務局からのお知らせ～

大津島地区社会福祉協議会よりお礼  
平成26年度善意銀行へのご寄付をありがとうございます。

- 預託者 大森 恵子 様  
亡夫 大森 作男 様の香典返しとして  
金50,000円  
(市社協 10,000円、大津島社協 40,000円)

### 移動図書館<やまびこ号 Jr.>

- 11月21日(金) 12月24日(水)
- 馬島巡航待合所 11:30～12:00
- 刈尾巡航待合所 12:20～12:50

編集後記 今号はお休みします。



大津島の最新情報 更新中!!  
<http://shunan-inaka.jugem.jp/>

### ◆◆◆◆◆交通安全協会便り◆◆◆◆◆



文＝大友 あゆみ

この度、安達雅之さんが「交通安全功労者」に選ばれ、地区表彰を受けました。この賞は、交通安全活動に貢献し、過去5年以上無事故である等の条件を満たした方に贈られるものです。

次は3年後の県表彰を目標に、これからも島内の交通安全活動等にご尽力いただけたらと思います。

雅之さん、おめでとうございます。